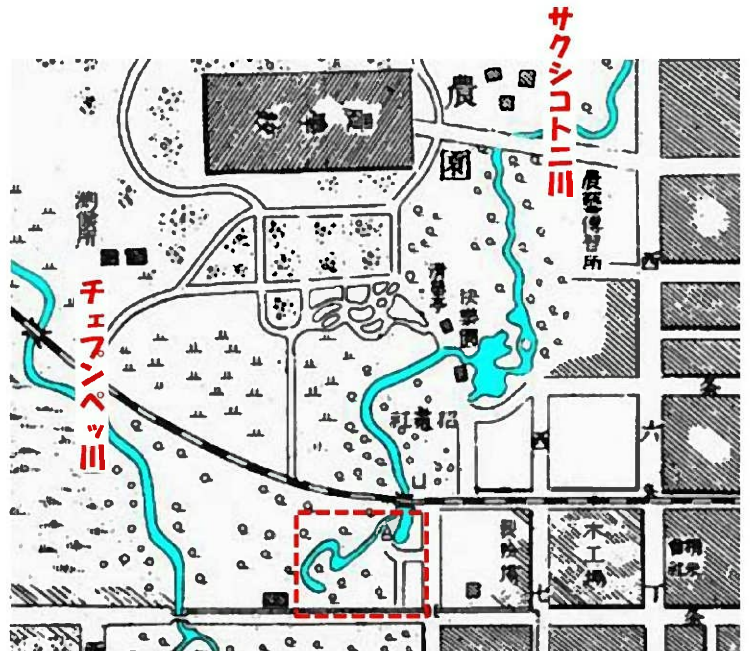


道民カレッジ連携講座

「札幌の失われた川を歩く」

古文書などから読み取れる札幌市の河川跡をたずね、150年の間に原野から大都市に変貌した歴史を学びます。室内説明では、古い地図や河川跡の様子などについて解説します。野外案内では、北大～北大植物園を歩きながら明治の建物や河川跡などをめぐります。
案内者：宮坂 省吾

「北海道総合地質学研究センターシニア研究員」



明治36年 札幌市街之図(札幌歴史地図<明治編>)

1日目：10月13日(金)

(室内説明) 18:00～20:00

会場：かでの2.7 (750 研修室) 札幌市中央区北2条西7丁目

2日目：10月14日(土) (野外案内) 13:00～15:00

集合場所：北海道大学正門 札幌市北区北9条西5丁目

定員：各20名(1日の受講でも可)

対象：中学生、高校生、一般・学生、高齢者、女性、参加対象の保護者

道民カレッジ取得単位数：1日目・2日目いずれも一般：2単位、ジュニア：1単位

申込期限：10月10日

参加費：13日：500円、14日：1000円(植物園入園料と保険料を含む)

※なお14日に参加の方は保険加入のために氏名、生年月日、性別を添えてお申込み下さい。その際に取得した個人情報 は特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センタープライバシーポリシーに従い、適正に管理いたします。

■主催：特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター(HRCG)

■問合せ先：嵯峨山(さがやま)

■携帯電話：090-9086-9644 Fax：011-386-5647

■E-Mail：tsaga@hrcg.jp

■ホームページ：http://www.hrcg.jp



案内者のプロフィール

宮坂 省吾 (みやさか せいご)
北海道総合地質学研究センターシニア研究員

略歴

長野県生まれ.

1968年 北海道大学理学部地質学鉱物学科卒業.

1987年「日高山脈の上昇史」で学位取得 (理学博士).

大学卒業後、明治コンサルタント株式会社に入社し、
主に北海道内で地質コンサルタントとして活動.

2002-2013年 北海道大学・北海道教育大学で非常勤講師 (主に自然災害論). 最近は手稲山の地すべりや豊平川の洪水史・支笏湖苔の洞門の形成史など地域の自然史解明を目論んでいる.



特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センターのご紹介

北海道総合地質学研究センターは、北海道内外の大学や研究機関、教育機関、自治体、企業などで地質学の研究・教育・実務に従事し、退職の時期を迎えた者たちとその予備軍によって 2016年3月1日に設立されました.

北海道総合地質学研究センターは個々のメンバーが退職後も様々な創造的活動を意欲的に継続するためのセンターに、また個々のメンバーが培ってきた地質学に関する専門性を活用して、社会への恩返しをするためのセンターになることを目指しています.

北海道総合地質学研究センターの主な活動は約2ヶ月に1回程度の研究セミナーの開催と年に2回程度の電子ジャーナル「総合地質」の発行です. とともに北海道総合地質学研究センターの外にも公開されています.

北海道総合地質学研究センターは現時点ではバーチャル・分散システムを採用しています. 日常的には電子メールやインターネット経由で意見交換や、様々な議論を行っています. そのため会員には北海道総合地質学研究センターから電子メールのアカウント (@hrcg.jp) が提供されます.

北海道総合地質学研究センターの会員は地質学の専門家に限定されているわけではありません. 地質学に関する創造的な活動を行う意思がある方はもちろん、地質学に関心を有する方であればどなたでも参加することができます. 入会金は不要で、年会費は正会員が 6,000円、一般会員が 5,000円、賛助会員が一口 2,000円で5口以上、院生・学生会員は 1,000円となっています.

関心をお持ちの方は北海道総合地質学研究センターのホームページ (<http://www.hrcg.jp>) をご覧下さい.